公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ほぶり和光教室		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高いABA(応用行動分析学)に基づく個別セラピーを行っていること	<ul style="list-style-type: none"> ・実技と知識向上のため、2か月に1度、職員全員が研修を受けている。 ・スーパーバイザーがセラピーに同席し、プログラムや支援方法について職員にアドバイスするなど、より質の高い療育を目指している。 ・個別セラピーによって、お子さんや親御さんの要望に合わせたオーダーメイドの療育を行っている。 	内部の研修だけでなく、外部の研修にも参加できるよう計画していきたい。
2	担当制のセラピーであること	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に1人(または2人)の担当者が年間を通してセラピーを実施している。 ・お子さん、親御さんとの信頼関係を築くことや、切れ目の無い支援を目指している。 	
3	親御さんに同席していただき、ご家庭での般化を図っていること	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの知識や技術の習得、特性に合わせた対応方法を親御さんの目の前で見ていただき、質問に答えたりご説明をする。 ・ご家庭で取り組んでいただきたいことを提案する。 ・ご家庭での関りの様子を動画で見せていただき、アドバイスをする。 	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団療育の機会が少ない	職員数、部屋数の事情から、小集団クラスを設置する枠が限られてしまうため、ニーズが合うお子さんをその枠に合わせて小集団を作ることが難しい。	個別セラピーが主であるが、課題内容によっては、ニーズの合うお子さん同士ペアでセラピーを組むなど、お子さんに必要な支援を臨機応変に提供できるよう取り組んで行く。
2	セラピストが不足している	ABAの専門療育を行うのに必要なABAセラピストの確保が難しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して職員の募集をしている。 ・引き続きABAセラピーの為の研修を充実させ、ABAセラピストを増やしていく。
3			